取扱説明書番号
D148-RXXY

室内用

RHYTHM

Bluetooth® スピーカーシステム & デジタルクロック 取 扱 説 明 書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

付属品

リチウム電池CR2032 1個	AC電源アダプター 1個	延長コード 1個	
アタッチメント 1個	取付金具 2個	ピン 12本	木ねじ 6個
Bluetooth接続ガイド 1枚	取扱説明書 本書	保証書 1枚	
アタッチメント取り付けガイド 1枚			

製造 発売元 リズム時計工業株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1508)

Bluetooth®とは

Bluetooth（ブルートゥース）は、デジタル機器用の近距離無線通信規格の1つです。
本機はBluetooth機器と通信することにより、音楽などを再生することができます。
Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「リズム時計工業株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として認定を受けています。
従って、無線局の免許は必要ありません。ただし、本機の分解や改造、定格銘板をはがすなどの行為を行うと法律により罰せられることがあります。

使用周波数帯について

本機は、2.4GHz帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、Bluetoothの機能を停止してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室へご相談ください。

2.4FH1 左図は2.4GHz帯の周波数帯を使用し、FH変調方式、与干渉距離は10mであることを表しています。

使用可能距離について

見通し距離約10m以内で使用してください。障害物や周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。使用可能距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

電波の干渉について

下記の機器でも2.4GHzの周波数帯を使用しているものがあります。
相互に影響を与える可能性があります。

- ファクシミリ
- 無線LAN機器
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 自動ドア制御システム
- アマチュア無線局
- 電子レンジ
- テレビ、ビデオ、パソコンなどワイヤレスAV機器
- 火災報知器
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- 万引き防止システム
- マイクロ波治療器など

おもな製品仕様

総合	
使用温度	0～40℃
使用湿度	30～85%RH ＊結露しないこと
停電補償用電池	CR 2032 3V（時計用）
AC 電源アダプター	入力：AC100～240V、50/60Hz、0.45A、0.5W
	出力：DC9V、1.3A
	コード長 約1.8m
延長ケーブル	コード長 約1.3m
消費電力	音楽再生時：約10W（音量最大） 時計表示のみ：約2.7W（明るさ Normal）
本体寸法	約410（幅）×205（高さ）×56（奥行き）（アタッチメント含まず）
本体質量	約1.1 kg（電池を含み、アタッチメントを含まず）
時計部	
種類	クオーツ方式
時間精度	平均月差 ±30秒 温度が5～35℃のとき
表示方式	LED
表示形式	12時間／24時間 選択式
カレンダー	2015～2099年対応
暗所自動輝度低下	明暗センサーと連動
スピーカー部	
スピーカー	フルレンジ 直径57mm × 2 コーン型
実用最大出力	3W + 3W
Bluetooth 部	
バージョン	Bluetooth Ver. 4.0
対応プロファイル	A2DP、AVRCP（Volume Up/Down）
対応コーディング	SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T
変調方式	FHSS（周波数ホッピング方式）
送信出力	Class 2（2.5mW）
最大通信距離	見通し距離約10m
使用周波数帯	2.4GHz帯（2402～2480MHz）

■ 他機器からの影響について

- 他のBluetooth 対応機器や無線LAN（IEEE802.11b/g）など2.4 GHz 帯を使用する機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動かない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。
  本機とBluetooth機器を接続するときは、
  — 無線LAN機器から10m以上離れたところで行う。
  — 10m以内のときは無線LAN機器の電源を切る。
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動かないことがあります。

■ 他機器への影響について

本機から発する電波は、電子医療機器などに影響を与える可能性があり、場合によっては、事故を発生させる原因になりますので注意が必要です。
医療機器への影響については下記のホームページをご覧ください。
総務省 「電波の安全性に関する調査及び評価技術」
ホームページアドレス: http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
電波環境協議会 「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」
ホームページアドレス: http://www.emcc-info.net/info/info2608.html
＊ホームページのアドレスが変更されたり、削除されることがあります。

使用制限について

- 日本国内のみで使用できます。
- すべてのBluetooth 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBluetooth 対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合していても、Bluetooth対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 次のことを守らないと、火災や感電により死亡や大けがなど人身事故の原因になります

禁止 **ぬれた手で触れない**
感電や故障の原因になります。

禁止 **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になるところでは使わない**
感電や故障の原因になります。

禁止 **ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない**
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

禁止 **AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する**
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

必ず守る **本体やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く**
そのままにすると、感電や火災の原因になります。

必ず守る **ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる**
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になります。

必ず守る **AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使いかたをしない**
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。

禁止 **雷が鳴り出したら、本機やAC電源アダプターにふれない**
感電の原因になります。

分解禁止 **分解や改造をしない**
火災や感電、故障の原因になります。

禁止 **AC電源アダプターを布団などでおおった状態で使わない**
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止 **故障や破損した状態で使わない**
けがや火災、感電などの原因になります。

必ず守る **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 **電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

禁止 **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

禁止 **医療電気機器が設置されたところで使わない**
電波が電気医療機器に影響を与え誤作動して事故を招くおそれがあります。

禁止 **心臓ペースメーカーを装着している方は装着部に近づけない**
電波が心臓ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。

禁止 **自動ドア、火災報知機の自動制御機器の近くで使わない**
電波により、自動制御機器が誤作動して事故を招くおそれがあります。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

必ず守る **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱により故障やけがの原因になります。

禁止 **使用中のAC電源アダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因となります。

必ず守る **長期間使用しないときは、電池とAC電源アダプターを取り外す**
安全のため AC 電源アダプターや電池を取り外してください。

必ず守る **ACアダプターのケーブルを引っ張らない**
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、AC 電源アダプター本体を持ってください。

禁止 **下記のような場所では使わない**
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+40℃以上の所。
- 温度が0℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 電池を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類を使用しないでください。
- 静電気により、本機や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときRESETを押してください。

アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について
電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。
ただし、故障内容やその他の状況により製品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ前に

この取扱説明書とご使用の Bluetooth 機器の取扱説明書をもう一度お調べください。

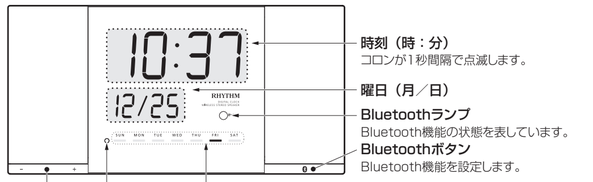
お問い合わせ先

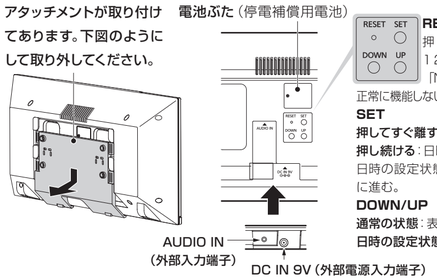
お問い合わせに際しては、型番「8RDA71」をお伝えください。

お客様相談室 0120-557-005
（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本機を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

1. 各部の名称と役割





2. 電源のセット

⑴ 停電補償電池のセット

停電などAC電源アダプターから電力が得られないときに、日時を保持するための停電補償電池をセットしてお使いください。

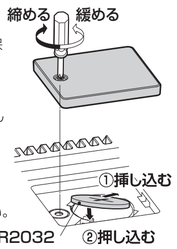
①電池ぶたを固定しているねじを緩めて、電池ぶたを取り外す。

②右図のようにCR2032の+面を上にして、斜めに挿し込み押し込んでください。

③電池ぶたを取り付け、ねじを締めてください。

※この電池のみでは日時の表示や音楽などの再生はできません。

※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどでお買い求めください。



⑵ AC 電源アダプターのセット

①AC電源アダプターを接続してお使いください。

置いて使うとき：本体に直接AC電源アダプターを接続する。

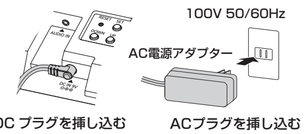
掛けて使うとき：付属の延長ケーブルを介して、AC電源アダプターを接続する。

②**RESET** を押してください。約 2 秒間全点灯してから日時表示になります。

⚠ 警告 **使用中の AC 電源アダプターは熱を持ちます。触れないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止してください。**

■ 直接接続

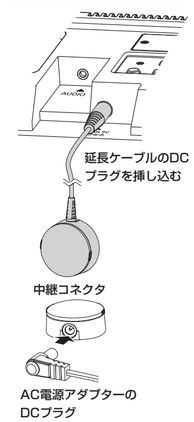
AC電源アダプターのDCプラグを本機の**DC IN**にしっかり挿し込み、AC電源アダプターのACプラグをしっかりコンセントに挿し込んでください。



■ 延長ケーブルの接続

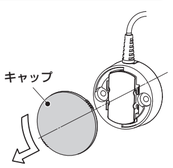
延長ケーブルの DC プラグを **DC IN** に奥までしっかり挿し込みます。中継コネクタに AC 電源アダプターの DC プラグを差し込みます。

延長ケーブルの接続



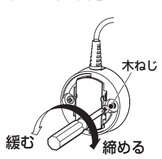
延長ケーブルを壁面に固定する

延長ケーブルの中継コネクタは、木ねじまたはピンで壁面に固定することができます。
中継コネクタのキャップは左に回して引っ張ると取り外せます。
取り付けるときはキャップを右に回転して固定してください。



木質の厚い壁面の場合

プラスドライバをご用意ください。
木ねじ2本で固定してください。



石こうボードの場合

4つのピンを図のように斜めに押し込んで固定してください。

AC 電源アダプター接続時直後の表示について

はじめて通電したときは、西暦2015年1月1日、12：00からスタートします。

停電補償用の電池をセットしてあるときは、停電しても日時を保持します。

※停電補償用電池の寿命は連続使用で約1年です。

本機を1ヵ月以上使用しないときは、液漏れを防ぐため停電補償用電池を取り出すことをお勧めいたします。

※停電補償用の電池をセットしない状態や停電補償用の電池が切れているときに、AC電源アダプターを接続して通電すると表示が約2秒間全点灯してから日時表示になります。

3. 日時のセット （日時の修正）

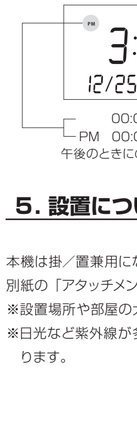
はじめてお使いになるときや日時を修正するときは、下記の手順で操作してください。

西暦年→月→日→時→分の順で設定します。このとき設定する対象の数値が点滅します。

点滅している数値を **UP** または **DOWN** で合わせてから **SET** を押します。

操作	押してすぐ離す	押し続ける
UP	1つ進む	早送り
DOWN	1つ戻る	早戻し

（本機裏面）



操作手順

①**SET**を西暦年が点滅するまで約2秒間押し続ける

②西暦年を**UP**または**DOWN**で合わせて**SET**を押す
2015～2099年の範囲で設定できます。

③月を**UP**または**DOWN**で合わせて**SET**を押す

④日を**UP**または**DOWN**で合わせて**SET**を押す
曜日は自動的に設定されます。

⑤時を**UP**または**DOWN**で合わせて**SET**を押す

⑥分を**UP**または**DOWN**で合わせて**SET**を押す
SETを押すと00秒から時を刻み始めます。
時／分ともに変更されないときは00秒にはなりません。

※以上で設定が終わり日時表示に戻ります。

●日時の設定中に、約６０秒間ボタン操作を中断すると表示内容で設定を終了します。

4. 表示の切り替え （表示の明るさ・消灯、時刻の12／24H切替）

○表示の明るさ「Low」（暗）と「Normal」（明）、表示を消灯させる「OFF」があります。

○時刻の表示は12時間と24時間があります。

※日時を設定しているときは、表示の切り替えをすることができません。

⑴明るさの切り替えまたは表示を消灯させるには

「OFF」または「Low」にするときは**DOWN**を、明るくするときは**UP**を押してください。

← **DOWN**　　（本機裏面）

OFF（消灯）　Low（暗）　Normal（明）

UP →

※暗いところでは、明るさを「Normal」にしても約2秒後に「Low」に切り替わります。

⑵時刻表示の切り替えるには

SETを押すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。

5. 設置について

本機は掛／置兼用になっています。設置に合わせてアタッチメントを適切に取り付けてください。

別紙の「アタッチメント取り付けガイド」をお読みください。

※設置場所や部屋の大きさなどの使用条件により、音質に違いがでることがあります。

※日光など紫外線が多く含まれる光が当たらない所に設置してください。変色や劣化の原因になります。

6. Bluetooth で音楽を聴く （音を再生する）

⑴Bluetooth 対応機器と接続する

Bluetooth規格に対応したスマートフォンやデジタルオーディオプレーヤー、TVなどのBluetooth機器と接続するには、ペアリング*1と呼ばれる手続きを行います。

○実際にペアリング操作をするときは、接続するBluetooth機器の説明書をお読みください。

○ペアリングが登録*2されている場合は、音楽を再生するときにペアリングの手続きは不要です。

*1ペアリングとは、Bluetooth機器と本機を「ペア」として認識させる作業です。

*2本機は、8台の異なったBluetooth機器とのペアリングを記録します。8台を超えて登録をすると最も古い登録が削除されます。削除されたBluetooth機器を接続するには再度ペアリングが必要になります。

■ ペアリングの手順

○本機に1台もペアリング登録されていないときは、Bluetooth機能をONにすると自動的にペアリング状態になります。

○ペアリングの待機時間は5分です。待機状態が終わるとき「ピー・ピー」と鳴ります。

①**Bluetooth**ボタンを押して**Bluetooth**ランプが1秒点滅状態になってから**Bluetooth**ボタンを約2秒間長押しすると**Bluetooth**ランプが**早い点滅状態**になります。
早い点滅に切り替わらないときは、操作を繰り返してください。

②接続するBluetooth機器のBluetooth機能をONにします。

③Bluetooth機器のBluetoothリストから本機「8RDA71 RHYTHM」を選択します。
ペアリングが完了すると同時に接続状態になり、本機の**Bluetooth**ランプが点灯に変わります。

■ 自動接続　Bluetoothランプが点滅している待機状態のとき

ペアリング済みのBluetooth機器のBluetooth機能がONの状態で、本機が待機状態のときに通信可能な範囲に入ると自動的に接続状態になります。

※接続の待機状態が15分経過すると自動的にBluetooth機能がOFFになります。

※Bluetooth機器によっては、Bluetoothリストから「8RDA71 RHYTHM」を選択する必要があります。

※通信距離は約10mですが、本機とBluetooth機器との間の遮蔽物やノイズにより接続できないことがあります。接続できないときは1m以内の近距離でお試しください。

■ ペアリングの解除

本機に登録されているすべてのペアリング済みBluetooth機器を解除するには、**Bluetooth**ランプが点灯または点滅している状態で**Bluetooth**ボタンを10～12秒間押し続けてください。

Bluetoothボタンを押してBluetooth機能を一度OFFにして、再度**Bluetooth**ボタンを押したときに**Bluetooth**ランプが早い点滅状態になれば解除されています。

⑵ 音楽を聴く

Bluetooth機器と接続された状態で操作します。

接続したBluetooth機器で音楽を再生します。

Bluetooth機器を適度な音量にして、本機のボリューム（+/−）で音量を調節します。

●スマートフォンと接続使用しているときに、着信があったときのふるまいについては、スマートフォンの説明書をお読みください。

⑶ 使い終わるには

次のいずれかの操作を行ってください。

①接続しているBluetooth機器のBluetooth機能をOFFにする。

②接続しているBluetooth機器の電源を切る。

③本機の**Bluetooth**ボタンを押してBluetooth機能をOFFにする。

7. 外部入力（AUDIO IN）にケーブルをつないで音楽を聴く

市販のステレオミニケーブルで本機とオーディオ機器を接続することにより、本機で音楽などを再生することができます。

3.5mmステレオミニケーブルを別途ご用意ください。

①オーディオ機器と本機をステレオミニケーブルで接続します。

②本機の**Bluetooth**ボタンを押して**接続待機**にしてください。

③オーディオ機器で適度な音量で音楽を再生します。

④本機のボリューム（+/−）で音量を調節します。

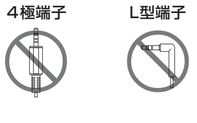
※Bluetooth機器と接続状態のときは、外部入力からの音を再生しません。

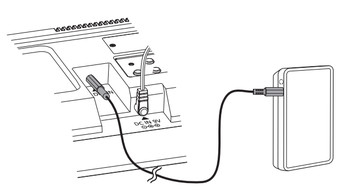
接続してはいけないステレオミニケーブル

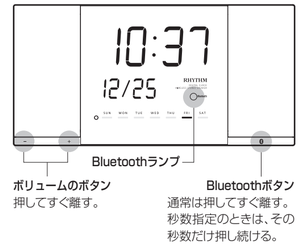
●4極端子を使用すると機器が故障するおそれがあります。

●L型端子を取り付けるとアタッチメントを取り付けることができません。

4極端子　**L型端子**







音量の調節

音量は、Bluetooth機器側の音量設定の影響を受けます。本機側で音が小さくならない、あるいは大きくならないときはBluetooth機器側で音量を調節してください。

＋または**－**の操作に応じて曜日部点灯。

*曜日部の点灯は音量を7段階に分けています。

Bluetoothボタンの操作

■ Bluetooth機能のON/OFF

押してすぐに離すとON/OFFが切り替わります。ONにしたときに1台でもペアリング登録されていれば**接続待機**になります。1台もペアリング登録されていないときは、**ペアリング待機**になります。

■ ペアリングを開始したいとき

Bluetoothランプが点滅しているときに2秒間押し続けると早い点滅に変わります。

※**Bluetooth**ボタンを押すタイミングによっては、状態が切り替わらないときがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

■ Bluetoothランプの見かたと確認音

状態	確認音	Bluetoothランプ
ペアリング開始	ポーポー	早い点滅
ペアリング待機	―	早い点滅
ペアリング完了	ピ-ピィ	点灯
ペアリング待機終了	ピーピー	点滅（1秒間隔）
接続待機	―	点滅（1秒間隔）
接続待機終了	―	消灯
接続完了	ピ-ピィ	点灯
接続中	―	点灯
接続解除完了	ピィー	点滅（1秒間隔）
Bluetooth機能OFF	―	消灯

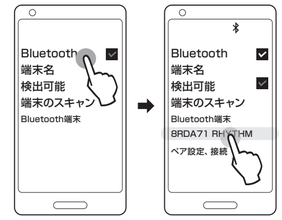
※確認音は状態が変わるときに鳴ります。

※確認音の音量はボリュームと連動しています。
音量が小さいと聞こえなくなります。

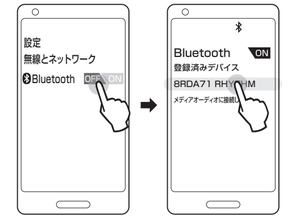
操作例　スマートフォンとのペアリング／接続

スマートフォンではBluetooth機能がONのとき ᛒ マークが表示されます。具体的な操作については、お使いのスマートフォンの説明書をご覧ください。以下の図は操作イメージです。

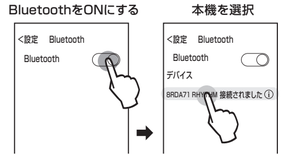
Android 2.3.x
「設定」→「無線とネットワークの設定」
→「Bluetooth設定」



Android 4.x
「設定」→「無線とネットワーク」



iPhone
「設定」→「Bluetooth」



アドバイス

○ペアリングするときに、パスワードを求められたときは4桁のゼロ（0000）を入力してください。

iPhone は、Apple Inc. の商標です。
Android™、Android ロゴは Google Inc. の登録商標です。

こんなときには

日時が表示されない	○AC電源アダプターの接続を確認してください。 ○表示を「OFF」（消灯）にしていませんか UPを押して明るさを「Low」または「Normal」にしてください。
AUDIO INに接続しても再生されない 再生したときステレオにならない	○ミニステレオケーブルがオーディオ機器のAUX（外部出力）またはイヤホーン端子に接続されているか確認してください。 ○Bluetooth機器と接続された状態になっていませんか 接続しているBluetooth機器を切断してください。 ○モノラル音源またはモノラルケーブルをお使いのときはステレオ再生できません。
Bluetoothで音楽が再生されない	○**Bluetooth**ランプが点滅：Bluetooth機器を接続してください。 ○**Bluetooth**ランプが点灯：Bluetooth機器の音量を上げる。 音量が変わらないときは、他のBluetooth機器と接続状態になっている可能性があります。接続をやり直してください。
音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる	○本機の音量を下げてください。 ○Bluetooth機器の音量を下げてください。 ○接続したBluetooth機器を本機に近づけてください。 ○電子レンジや無線LAN機器の近くで使用するとノイズが入りやすくなります。電子レンジや無線LAN機器を停止させてください。